

令和3年度筑紫地区第1回多職種多機関連携研修会 報告 「動画で知る 在宅医療介護連携」

今回はコロナの感染状況を鑑みて集合研修ではなく、令和3年7月20日～9月17日の期間中、筑紫医師会のホームページへ動画を掲載して地域の多職種のみなさまに視聴いただく動画研修を行いました。

動画の内容は、同じ利用者（患者）様に関わっている多職種、7名の方々にご登場いただき、自身の役割と実践状況について話してくださいました。（1話15分程度 7回シリーズ）

ケアマネジャー編 岸本有希子さん(あけぼのケアプランサービス)

訪問診療医編 土居 崇仁先生(どい内科クリニック)

訪問看護師編 内野 多美子さん(みづき訪問看護ステーション)

訪問薬剤師編 前田 芳乃先生(みこと薬局)

訪問介護員編 桂木 博美さん(みづきヘルパーステーション)

福祉用具専門相談員編 宮本 龍寛さん(株式会社うらべ)

訪問歯科診療医編 江崎 充宣先生(アスールデンタルクリニック)

※ご協力ありがとうございました※

ご視聴者の感想、各職種へいただいたご質問内容を掲載いたします。

ご質問への回答は、今後機会を見つけて各職種の方々にご回答いただき、再度本ページにて掲載する等検討してまいります。

第1回ケアマネジャー編

回答者79名の職種内訳：包括27 居宅12 薬剤師10 訪看10 病院病棟看護師6 SW3 ほか

研修の感想

時間もちょうどよく内容もわかりやすかった

わかり安く、まとめてあり、多職種とどのように関わられているか、わかりやすかったです。

患者様への応援は家族だけでなく、多職種の連携が大切なことを学びました。

内容がわかりやすく、動画で見ることで本人・家族・関係スタッフの関係性のイメージがつきやすい。

他の職種にケアマネ業務を理解していただけるようまとめられていたと思います。

必要とされていることに喜びを感じ、今後の実務に活かしていきたいと思います。

多種にわたる業務をわかりやすく、まとめてあったと思います。

コロナ禍の中でもこの様な形で他職種の方の話を聞く事が出来、有難かったです。

チームで一患者さんを支援しているという事がわかりやすく説明・画像でも読み取れました。在宅で過ごされる患者さんの姿を見てすることでプランを立て返すという事を考えていくことが必要であると感じました。スライドの中でテレビ代が台になっていましたが誤りではないでしょうか？念のためお知らせしました。

とても分かりやすい動画でした。

実際の介護場面を写真で提供されていたので、とてもわかりやすかったです。

やっぱり在宅の中でケアマネさんの立場が1番大事ですね。そして医師が上手くサポートしないとですね。

普段の自分の調剤では触れる事のない介護の仕組み、実際の様子を1から教えて頂けるようで、感謝です。

要介護の方のケアプラン立案や専門職の支援の必要性について、具体例をもとに分かりやすくご説明頂きありがとうございました。

現在も訪問診療は行っているので、他職種連携につなげていくつもりです

具体的に分かり安くて良かった

各職種の連携が取れているケースだった様に思います。他職種連携が取れないと利用者さんも安心して在宅生活を送ることができますね。もっと頑張らないといけないなあ～と感じました。

対象者本人だけでなく、家族の希望目標に沿ったプランを多職種連携しながら寄り添う姿に感動致しました。事例としての関わりを知ることが出来て、分かりやすかったです。

ケアマネについて、基本的なことが分かりやすく説明してあり、改めて理解することができた。

今後もケアマネさんに情報を集中します。

短い時間でよくまとまっていました。部署の学習会に利用しました。

医療や介護状態がいつ悪化するかもしれない厳しい状況下でも、本人の希望や家族の思いを受け止めて、さらに他職種の支援者と良好な関係を作り、ときにはケアプランを修正するなどして本人の望む在宅生活を実現された事例だと思います。ケアマネジャーの方は、日頃から本人や家族と真剣に向き合い、多職種の支援者とも信頼関係を築いてこられた方だと思います。日頃の自身を振り返り、利用者や家族、複数の支援者の方々の中で個人の意見をしっかり聞き取る姿勢が大切だと再確認しました。

わかりやすい説明で、良かったです

ケアプランと実際の支援経過を知ることができて参考になりました。

多職種の連携により、在宅療養に対する不安を軽減し、生活意欲や楽しみが持てるようになったことが、同じケアマネとしてうれしく感じました。

情報交換、共有の大切さが理解できる内容でした。自身の仕事にも生かせればと思います。

在宅生活を送る上で、本人・家族の要望に応じるには、各事業所の方との連携を行う事が重要だと思った。とても丁寧で分かりやすく良かったです。

わかりやすい。動画なので繰り返し見聞きできる。

直接かかる仕事でなくとも プランを立てるときは 本人へ寄り添ってになるので大変だと思いました。

家族の意見も考慮しなくてはいけないし 専門職の意見も必要だし 間に入る大変さを感じています。

ケアマネージャーさんの関わりは利用者様にとってとても重要であると実感しました。利用者様がよりよい生活を送れる事ができる様、連携を深めて参りたいと思います。

動画で見ると聞き漏らしが無く、わかりやすく良かったです。

ケアマネージャーとの連携の必要性を再度認識した

今後連携を深めて、業務に活かしていきたい

同じ介護支援専門員として、素晴らしい支援をされていると勉強になりました。特に喀痰吸引や胃瘻造設など、家族にとっても、在宅介護の決断は勇気がいると思うのですが、「もし、私が担当だったなら・・」とイメージした際に、具体的な地域の事例であることが、非常に参考となりました。特に、身近な事業所名が出てきていることが、今後の業務に参考になると思いました。わかりやすく、時間も短めであることも良かったです。期間限定のようですが、今後も生きた教材として、研修に活用ができるのではないか?限られた時間の中で、ギュッと凝縮されたわかりやすい研修でした。一人で空回りする事も多いので、私も多職種連携を頑張りたいと元気を頂きました。

分かりやすく、とても良かった。ありがとうございました。

わかりやすく、ケアマネさん的人柄の良さが伝わってきました。

とてもわかりやすかったです。

要点がまとめられており、わかりやすかった。

とてもわかりやすく、患者様、ご家族の想いに触れられる素敵な事例でした。貴重なお話をありがとうございました。

コロナ渦で担当者会議も減っているなか改めて確認、意識する事が出来ました。

ケアマネの役割が分かりやすかった。

他の職種の方の業務内容が詳しくわかってよかったです。

自分は重度の方のケアプランは行ったことがないので、関わる支援者の種類や日数が多いことを学びました。今後の業務に活かしたいと思います。ありがとうございました。

ケアマネジャーへの質問 6件

○多職種での情報共有はどの程度、どのような形で行っていますか。

○ケアプランは何に重点をおいて作成されていますか？

○情報の共有という点においてまだまだという感じがしております。歯科医師側で改善すべき点ありますからお願いいたします

○在宅で生活したいと言う望みは、退院前は難しいと思われていたが、複数のサービスを入れることで可能となった。意向に沿ったプランを作成することでご本人らしい生活が送れるのだと再認識した。家族もチーム員になっていることに感動しました。

支援の中で在宅か施設か迷うことが多いと思います。選択に重要視されることがあれば、教えてください。

○家族がそばにいない方や 親族がいない方のプランは どこにポイントおかれますか？

○認知症高齢者への支援で課題となっていることを教えて下さい。

第2回訪問診療医編

回答者 67名の職種内訳： 包括 29 訪看 11 薬剤師 8 居宅 8 病院病棟看護師 2 SW2 ほか

研修の感想

分かりやすく説明して頂けて理解が深まりました。連携の大切さがわかりました。（3件）

年々、看取りの件数が増加しており、在宅医療、関係者とのチームプレーの重要さを感じます。今後もスムーズな連携が図れるよう努めたいと思います。

わかりやすくて、理解できた。

要支援でガン末の利用者が多々おられます。在宅診療を導入する事で在宅での看取りが可能となるので、これから必要性が高くなると感じました。

土居先生との連携はありませんが、いつか連携出来たらいいなと思う先生でした。

マンパワーの大切さと同時に当該患者に対する適切な情報の共有の大切さを痛感した

本人・家族を取り巻く環境の中で、病気の事など不安な要素があると思います。訪問診療を行う事で、本人・家族の不安軽減に繋がり、安心感が出て来ると思われます。訪問診療の役割と必要性を学ばさせてもらいました。

医療と介護について学ぶことができた

現場のなまの声を聴けて参考になります。

どい先生の優しそうな笑顔が印象的でした。

各職種が連携し同じ方向を見ながら本人家族の意向を反映し支援していくことの重要性が学べました。

訪問診療について再確認ができた。

症例の方に対し、訪問看護師やその他の介護スタッフがどのようにかかわっていたか、生の意見を聞きたかった。

とてもよくわかりました。

何度も見返す事が出来て良かった。

訪問診療をしていただける医師が増えることを期待します。

普段聞く事のできない訪問診療医師の話を聞く事ができ、とてもいい機会となりました。

具体的な介入件数や見取り件数を知ることができて、今後の参考になりました。

訪問診療の先生方には急なご相談も快くお引き受け頂き、本当に感謝しております。土居先生の笑顔に救われる患者様は多くいらっしゃると思いますので、これからもよろしくお願ひ致します。

ドクターに対して、なんとなく苦手意識がありましたがあが、訪問診療に携わられている土居先生のお考えを聞いて、連携をとりやすく感じほっとしました。

とても勉強になりました。

フットワーク軽く往診をしていただくことで、在宅療養の安心感につながり、何かあるとき相談できることもうれしいことです。

在宅生活が少しでも続ければ様これからも医療と介護の連携をはかれる様にしていきます

在宅医師の重要性がわかりました

先生の日頃の診療状況がよくわかり、先生との連携ポイントもよくわかりました。ありがとうございます。

年々在宅で看取りを希望される方が増えている中で、在宅医療に関わられている土居先生が、訪問診療だけ頑張ることではない、医療と介護の関係者とチームを組んで支援して行くことが大切と思うと話されました。先生の話からこれまで、そしてこれから多くの患者さんや家族はもちろん関係者に信頼される診療を実践されるだろうと感じました。有難うございました。

今後も連携を深めていきたいと思います。

訪問診療の先生がたが各事業所と連携をとりチームとしてやっていますとおっしゃったことが心に留まりました。

病院の診察勤務以外の時間に在宅診療されているので、忙しくされているのがわかりました。

多職種の専門職で情報の共有が重要であることを再確認しました。

医療的な管理が必要な対象者の方が在宅で生活することは介護者にとっても大変なことであると思います。先生のおっしゃるように多職種が同じ方向に向かって支援するという意識をもち連携をとることの重要性を感じました。さまざまな専門職がいてこそ、在宅生活が成り立つのだと改めて感じることが出来ました。ありがとうございました。

訪問診療される医師側からの見解が伺え勉強になりました。

情報共有、同じ方向性を持ってチームケアを行う事の重要性を感じた。

訪問診療されているドクターの話を聞く機会が少ないので貴重な話を聞けて良かった

訪問診療で行っている支援の内容を理解できた。

症例があり、ためになった。

今後連携を深めて業務に活かしていきたい

どい先生の公演は何度も聞いてますが いつも 学ぶことが出てきて勉強になりました。

高齢化多死社会の現在の在宅診療の重要性を感じています。様々な症例でも対応するエネルギーが素晴らしいなと思います。患者さん、家族の意に沿った自宅での生活が送れてうれしいと思います。病院から退院する患者さんへ少しでも安心した生活ができるようになぐ役割ができたらと思います。ありがとうございました。

訪問診療医への質問 7件

○認知症高齢者への支援で課題となっていることを教えて下さい。

○担当の先生に本人の了解を得て病状や治療方針を伺いに行きたいのですが、お忙しい中・・と考えて躊躇してしまいます。アポイントの取り方や必要な（事前に準備する）書類があれば教えていただきたいです。

○筑紫野地区の訪問診療の先生が、現在は土井先生だけなので、後に続く若手の先生たちの育成はどうになっているのでしょうか？土井先生のような先生がぜひ、増えてほしいと思います

- 看取り対象者や家族に対する IC が状況によって必要になると思いますが病院の診療もある中、どのようにされていますか。
 - 口腔ケアが肺炎、誤嚥などにかかわっているが、訪問診療医として歯科医に期待することとは何でしょうか？
 - 看取りまで依頼される方は どれくらいいらっしゃるのか知りたい。
 - 訪問診療と居宅療養管理指導との関連がもう少し掘り下げた資料が欲しい。
-

第3回訪問看護師編

回答者 49 名の職種内訳：包括 24 訪看 6 居宅 4 薬剤師 4 病院病棟看護師 2 SW2 ほか

研修の感想

これからは、利用者の病状が悪くなる前に利用してみたいと思います。

今後連携を深めて、業務に活かしていきたい
分かりやすかったです。

ケアマネージャーの方と同じ事例をご紹介頂き、それぞれの視点からのケースを読み解くことができました。貴重なお話をありがとうございました。

より利用者様に寄り添いながら支援を行いたいと感じました
訪問看護師としての関わり方を知ることができた。

主治医の指示で、御家族やケアマネ・ヘルパーさんなどの意見を 訪問することで課題分析され対応される速さに感心しました。

どの職種も情報共有、チームケアの重要性を重視していると感じた。

本当にいつも大変助けられています。細かな情報共有できる体制があります。

居宅支援ケアプランに基づいた訪問看護の実際をご講義頂き、身体問題や医療の必要性を深くとらえケアプランに反映させることの重要性を学びました。

わかりやすくて理解できた。

訪問看護師の役割を再認識することができました。

訪問看護の導入時期ということについてもう少し具体的に知りたいと感じました。制度との兼ね合いもありますので・・・

専門職、現場の第一線でいつも情報を頂いて助かっています。今後もチームとして連携強化ができると良いと思いました

病状が安定している内から訪問看護のサービスを導入することで訪問看護師の存在意義に改めて感動しました。とてもよくわかりました。

説明が聞きやすく分かりやすかった。撮影すると話が横道にそれること無く良かった。

基本的なことが分かりやすく説明してあり、訪問看護について、より深く知ることができました。在宅医療を支える上で、訪問看護の重要性が改めてわかりました。

疾患を持った方は不安を抱え生活されており看護師がかかわることで安心感があり不安ではなくなることだと思います。重要な仕事だと思います

在宅医療の要と認識します。医師との連携の橋渡しとしても期待します。

いつも、お世話になっているステーションさんの日頃の活躍がわかって良かったです。

24 時間対応の業務で、大変だと思います。そんな中の患者や家族からの感謝の言葉はやりがいを感じられるのではないかなと思います。これから益々必要な看護形態なのだなと感じました。

患者様だけではなく、ご家族を精神的に支える役割も大きく頼りにしています。24時間体制で安心して在宅生活が送れるので訪問看護は重要だと改めて感じました。

命を左右する重要な役を担っていますね。

訪問看護の理解が深まりました

支援での導入は難しいのですが、必要時は活用したいと思っています。

ケアプランや訪問看護、病院などのソーシャルワーカーなど多くの人々の情報共有と要介護者への情報提供が大切だと感じましたが・・・

病状が安定している内から訪問看護サービスを導入することで、入院せず 在宅生活が可能となることを再認識しました。

訪問看護師への質問 3件

- 認知症高齢者への支援で課題となっていることを教えて下さい。
- 医療保険と介護保険の利用時の注意点や有効な利用方法など知りたい。
- 理学療法士や作業療法士はどのような内容でどの程度に関わってくるのかも知りたいです。
-

第4回訪問薬剤師編

回答者48件の職種内訳：包括25 薬剤師7 訪看5 居宅4 SW2 ほか

研修の感想

薬剤指導、管理についても細かい部分での多職種連携は必須だと感じました。

利用の限度がわかり、良かったです

利用者が日常生活の中で服薬できているかは重要なアセスメント項目であることが分かりました。今後も薬剤指導で居宅生活者をサポートして頂きたいです。

在宅はチームワークが必要、常々感じていたことではありますが、連携してみてさらに強く思います。他職種の連携や顔が見える関係性は、大事だと思いました。

医療的ニーズの高い利用者を支援していく上では、医師、看護師、薬剤師の連携が必須であることが改めて理解できました。

要支援の方に積極的に算定していませんが、必要があれば算定したいと思います。

居宅療養指導とした薬剤師の役割に関して勉強不足だと感じました。今回の動画を見て非常に勉強になりました。ありがとうございました。

在宅療養は、多職種の情報を集約し、今の生活に生かすことが重要と感じました。

情報共有とチームケアの重要性を強調されていると感じました。

独居高齢者、高齢夫婦世帯では薬の管理ができない方が多いので薬剤師の役割は大きいと思います。チームプレーにて在宅生活を支えていきたいと思います。

いろいろと親身にされているのがわかる動画でした。ありがとうございました

わかりやすくて理解できた。

病気をコントロールするためには内服管理が重要であると思います。その対象の方の生きるに関わること、そしてよりよい生活をするために専門性を生かした連携ができるといいと感じました。研修ありがとうございました。

親切丁寧に説明して頂き分かりやすく良かったです

お薬カレンダーの使い方 勉強になりました。

少し分かり難かった。

在宅業務の参考にさせていただきます

今後の業務の参考にさせていただきます

薬カレンダーが準備できなくても、貼ることで同様の管理ができるなどを教えていただいた。

分かりやすく、良かったです。今後連携を深めて行くべきと認識しています。

家族と利用者の想いに寄り添うことも大切な業務だと理解できました。

とてもよくわかりました。

事業所独自の取り組みはとても興味深かったです。貴重なお話をありがとうございました。

私が知らない業務もあることがわかりました。調剤だけでなく管理等もあり大変な仕事だと理解が深まりました。

がん末期の患者さんの注射薬による疼痛コントロールへの対応も標準的になるといいなあと思いました。今日もPCAポンプで退院されましたので。

他の薬局でどのように業務をされているのかわかつてよかったです。

大変わかりやすく助かりました。もっと知りたいと思いました。

情報共有の手段を構築することの大切さを痛感させていただきました。

お疲れ様です。訪問看護にとって、とても必要な職種で、頼りにしてました。

薬剤師への質問 3件

○いつも精力的に活動されてる前田先生ですが あれだけの数の訪問をどうやってこなされてるのか?いつも感心しておりますが、今までで一番大変だった症例が知りたい。

○訪問看護や訪問診療との連携の仕方を詳しく知りたい。

○認知症高齢者への支援で課題となっていることを教えて下さい。

第5回訪問介護員編

回答者 38 件の職種内訳：包括 23 居宅 4 薬剤師 2 ほか

研修の感想

訪問介護員の不足を懸念します。講習会などで人材育成をしてほしいです。

日常生活の支援本当に大変だと感じました。

訪問時、医療ニーズの大きい方の状態が変だと思ったとき、訪問看護師やケアマネにすぐに相談できる体制が必要だと感じました。

自費サービスが入ると仕事量も増えると思いますが、皆さん患者さんの為という思いで色々なサービスを提供されていることがわかりました。

具体的でわかりやすく理解できました。

皆さんのお仕事で自宅で過ごせる方がいるんだなということを感じました。

在宅ケアの連携について分かりやすく説明してあり、再確認することができました。

要介護状態で身体の支援を必要とする中、生活で支援して頂くことに申し訳なく思ってましたが、研修を終えて思いが強くなりました。

集中して受ける事ができました。

ゆっくり丁寧な説明で大変わかりやすかったです。利用者への説明にも使えそうですね。

住み慣れた地域（自宅）で安心と生きる喜びを感じていただきたいとの言葉に感動しました。

連携の重要性が改めて分かりました。

訪問看護との連携がよくとれると感じました。訪問介護も在宅を支える重要な役割を担っているので、今後も頼りにしています。

動画配信は意識して話してくれるので、聞きやすくてわかりやすい。

医療の必要な方の在宅生活を支えるためには、介護度が重くなるほど訪問介護の支援は必要になってくると思います。それぞれの専門性を活かすためには細かいところの連絡、意見交換が必要だと感じました。

ヘルパーさんは細かい観察をされて看護師さんとの連携で利用者の事故を未然に防ぐことができるのだと理解出来ました。

専門職としてできることを見極め、密な連携を図られてる現場を教えて頂き、また地域の中での役割も意識されており、私も意識付けすることを改めて気付かされました。貴重なお話をありがとうございました。

安心と生きる喜びのために訪問介護を行っているとのこと、素晴らしいと思いました。

今後連携を深めて、業務に活かしていきたい

訪看さんとの連携の内容を同時にケアマネとしても知っておきたいと思いました。

医療処置・管理が必要な利用者様の訪問介護サービス導入時には、訪問看護サービスとの連携方法を事前に提示しておく必要があることを学びました。ありがとうございました。

利用者の現場の状況をいつも報告頂き、本当に頼もしい存在です

訪問介護員への質問 2件

○以前、残薬を見つけていただいたことがありました。サービスが重なったらいけないので ケアマネジャーを介してでしたが、とても助かりました。一人暮らしの方の介護のポイントを知りたい。

○複数で対応される利用者の方について、スタッフ間で技術的な事や共通理解しないといけない事は、いつどのような形で行われていますか？教えていただきたいです。

第6回福祉用具専門相談員編

回答者 42名の職種内訳：包括 26 訪看 4 居宅 4 薬剤師 2 ほか

研修の感想

寝たきりになんでも褥瘡が予防できるので、在宅の継続に期待がもてそうです。

特殊寝台とエアマット説明は動画でわかりやすかったです。

具体的でわかりやすく、福祉用具専門相談員の役割を理解できました。

いつも柔軟に対応してくれて助かります。適切な選定と助言はいつも感謝です。

介護保険は細かく制限があり、分かりにくいでですが、分かりやすい説明をされていたので、利用者は大変助かります。

今後連携を深めて、業務に活かしていきたい。

3モーターベッドや体圧分散（体位変換）マットの仕組みについて、要支援の方には馴染みのない福祉用具を紹介いただきありがとうございました。

福祉用具相談員のご提案で、患者様・御家族様の在宅生活の負担をサポートされるお仕事だということを学べました。

話すスピードや間が特に良く、聞きやすかった。ライブ配信には無い、内容がしっかり掴める研修だと思います。アーカイブなどで、いつでも見られるようになると、尚ありがたいです。

色々な福祉用具がありその選定に適切なアドバイスが必要だと理解できました。

説明は分かりやすくまとめてあったと思います。特に動画での説明は分かりやすかったです。

何時も早急な依頼にも快く対応して頂いて感謝しています。今後も連携をお願いします。

説明もわかりやすくよかったです

それぞれの項目のポイントが抑えられておりとても分かりやすかった。

ギャッジアップするとき、ベットの高さが変わるベットを初めて見ました。参考になりました。

福祉用具の的確な提案にはいつも助かっています。

いろいろな状況に合わせた介護用品があるので実際の提案に使いたいと思う

福祉用具について、基本的なことが分かりやすく説明してあり、福祉用具について知らない方にも理解頂けると思います。

一般の人向けに大事なポイントを押さえたわかりやすい内容になっていました。

ベッドの動画、分かりやすくて良かったです。

事例を通しての説明、とても分かりやすかったです。

丁寧な説明があり、新任ケアマネにとっては、福祉用具の知識を深めることができると感じた。

福祉用具の利用種類が分かって大変勉強になりました。

分かりやすかったです

福祉用具の要介護度に合わせた図式はとても分かりやすかったです。貴重なお話をありがとうございました。

実際にエア抜きを実践して教えていただいた事があります。福祉用具も生活にとって大切な一部です。みんなが、そのように認識していただけると良いなと感じました。

自立支援のために福祉用具や住宅改修を行い、より安心して暮らせるように支援していきたいと思いました。福祉用具専門相談員の知識やアセスメント力を活かす連携をとれるようになりたいです。研修ありがとうございました。

要支援者は貸与できる品目は少ないですが、ケアマネの見立てだけでなく福祉用具のスペシャリストの助言をいただきながら自立に向けた支援をしたいと思いました。

福祉用具専門相談員への質問 3件

○福祉用具専門相談員というお仕事を通じて一番達成感があった事例を教えて頂けたらと思います。

○住宅改修時の正しく工事されたかどうかの検証方法や、いつまで補償されるかなど、業界のルールなども知りたい。

○福祉用具はお試しがあるので問題は生じないと思いますが、住宅改修の手続きや工事を進める中で、事前調整をもっと行うべきだったと感じられた事例があったら教えてください。

第7回訪問歯科医編

回答者41件の職種内訳：包括21 訪看4 居宅4 薬剤師2 病院病棟看護師2 ほか

研修の感想

多職種との連携が在宅生活をされる患者様に大切であるということを学びました。

先生が大事にされていること、お考えに触れられる研修でした。貴重なお話をありがとうございました。

日々の診療に生かしたいと思う

舌圧測定で、摂食嚥下の評価を行っている事は初めて知りました。

歯科の居宅療養の目的が分かりやすく説明されていたので、多職種の方々に視聴を勧めたいと。

口腔内の方が生活の上で重要になってくることが分かった。

誤嚥を予防するための食事のポイント、口腔内環境を整える事の重要性を理解することができた。

今後連携を深めて、業務に活かしていきたい

舌圧測定器は知りませんでした。摂食嚥下機能低下している方に訪問歯科を勧めたいと思いました
具体的でわかりやすく、訪問歯科について理解できました。

舌圧リハビリをすると食事が摂れるようになること、口腔環境を整えることで発熱が少なくなることがわからました。

口腔の周りや舌の機能訓練をすることで、食事摂取機能のアップにつながり、誤嚥性肺炎や体力低下を防ぐことが良く分かった。健常者でもなかなか続かないが、高齢者に続けられるような支援があると良い。

通常の歯科診療に合わせて、舌圧測定や口腔トレーニングの導入により、利用者が口腔機能の維持、改善に主体的に取り組められるよう動機づけをなさっていることが分かりました。。ご講義頂きありがとうございました。

高齢者となると義歯調整が多くお願いしてましたが、嚥下機能訓練も提案できる事で機能アップできる事を再認識できました

分かりやすくとても勉強になります。今後積極的に活用させて頂きます。

訪問歯科医の支援内容について、知らない点も多かったためとても勉強になりました。

分かりやすい内容で良かったです。高齢者にとって嚥下と咀嚼は大きな問題です。今後とも宜しくお願ひします。

口腔環境の重要性が理解できたと思います。嚥下のリハビリも参考になりました。

訪問歯科では、歯科の治療だけでなく、嚥下に関するリハビリもして頂けるということを知ることができてよかったです。

診療室と変わらない治療、またそれ以上のことが訪問歯科診療で出来るという事に感動しました。口から食べることの重要性と口腔ケアをする事がその後の病状を大きく左右するということが多職種の方々にも伝わったのではないかと思います。

訪問歯科診療中に立ち会う舌機能運動により機能向上につながることが理解できた。口からの食事摂取、誤嚥性肺炎防止につながるよう今後の連携の重要性を感じた。

訪問歯科は歯の治療だけを考えていたので、他にも QOL に関する事が出来ると新たな発見がありました。
内容がとてもよかったです

初めて舌圧の測定器を見ました。知らないことが多すぎると思いました。今回かなり勉強させてもらいました。

嚥下機能の低下した方の機能評価・リハビリの様子が分かりました。訪問歯科を受けている利用者があっても、歯科医の先生の治療やリハビリに取り組まれている状況を支援者の一人として訪問歯科を受けている状況を見て理解しておく必要があると感じました。歯科に関する情報を得たいと思います。

訪問歯科でも誤嚥予防などの支援があることを学ぶことができました。食べることは“生きる”に直結することなので訪問歯科の導入意義を大いに感じます。とても学びになりました、研修ありがとうございました。

訪問歯科医師への質問 7件

○訪問歯科で口腔ケア、衛生管理指導をされる時に日頃から心掛けてあることを教えてください。

○歯科において具体的に現時点において、どこまで介入可能かを教えてほしい

○摂食嚥下において、ST さんとの連携も良くありますか？

○認知症などで舌運動や呼吸の訓練動作が難しい人に他動運動で効果的なことを知りたい

○気軽に相談出来る窓口があればと希望します。

○摂食・嚥下の訓練を詳しく知りたい。訪問サービスに役立てたいので研修があると受けてみたい。

○食欲が低下している高齢者の中に歯のない方（義歯も含めて）がたまにあります。咀嚼するという能力と食欲との関係について知りたいです。